

スクールクラスター（地域の教育資源の組合せ）を活用した取組

取組の特徴、概要を述べる。

I スクールクラスターを活用した特別支援教育の取組

1. 地域の概要

委託を受けた地域の基本情報（人口、幼児児童生徒数、学校数など）、本事業実施以前より特別支援教育に関して、地域の教育資源を活用した取組が行われていた場合はその内容等について説明する。

2. 地域の教育資源を活用した取組を実施するために行った工夫

地域内の学校間の連携を図るための検討委員会の設置や、事業協力員の活用、連携する学校に教員を兼務させる等教育委員会における支援内容など、地域の教育資源を活用した取組が円滑に実施されるよう行われた工夫について説明する。

3. 実践例

地域の教育資源を活用した取組について1つ以上記載する。

個々の幼児児童生徒への合理的配慮の事例の詳細については「II」に具体的に記述するため、教育資源を組み合わせるシステムを構築するために取り組んだ内容を記述する。

取組タイトル	
エリアの概要	
取組内容	

4. 成果と課題

インクルーシブ教育システムの構築の観点から、地域の教育資源を活用した取組の成果と課題を記述する。

Ⅱ スクールクラスターを活用した児童生徒への合理的配慮の取組

(代表的な5～10事例程度について、それぞれ別様で記載。)

1. 対象児童（生徒）について

学年、障害の状態、学習の様子、友だち関係や人との関わり、重点的に取り組んでいる課題、指導の方針等。

2. 対象児童（生徒）の学校における基礎的環境整備の状況

基礎的環境整備**(1)～(8)**の中から、特徴的な事項をいくつか挙げ、説明する。

また、適宜、資料を使用することができる。写真については、本人、保護者の許諾のあるものを使用することができる。

3. 対象児童（生徒）への合理的配慮の実際

合理的配慮**(1)－①～(3)③**の中から、特徴的な事項をいくつか挙げ、説明する。特にスクールクラスター（地域の教育資源の組み合わせ）が活用された点がわかるように記述すること。また、適宜、資料を使用することができる。写真については、本人、保護者の許諾のあるものを使用することができる。

4. 取組の成果と課題

対象児童（生徒）への学習面・社会性の面への効果、他の児童・生徒への影響、児童生徒・保護者・教師などの意識の変化、新たに進めつつある取組など。

5. 本事例の考察（課題の解決策等について）

改めてこの事例の特徴的要素（この事例から何が参考となるのか）、影響を与えていると考えられる基礎的環境整備の状況、効果的な合理的配慮とそれに付随する学校、教師（通常学級・特別支援学級）の取組や具体的要因などについて考察する。